

基本目標6 環境教育を通じた環境の人づくり

本県の豊かな自然環境を将来世代へ継承するとともに、限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会を形成していくためには、すべての県民が環境とのかかわりについての正しい認識と理解を深め、日常生活や事業活動において自らが率先して環境に配慮した行動を実践していくことが不可欠です。

このため、本県では、本県の環境行政施策の基本計画である「第3次山形県環境計画」において、環境学習・環境保全活動への参加者数を令和2年度までに16万7千人とすることを目標に掲げ、やまがた緑環境税を活用した県民参加の森づくり活動の推進や環境学習支援団体の認定（環境の保全に関する情報の提供や、体験の機会の提供等を通じて、県民の環境学習を支援している民間団体を知事が認定するもの）、環境科学研究センターの利用促進などに取り組んでいます。

こうした取組みにより、環境学習・環境保全活動への参加者数は、平成29年度末に16万7千人となり目標を前倒して達成、平成30年度末には17万4千人まで増加しました。

1 山形県環境教育行動計画

- 「第3次山形県環境計画」の分野別計画として「山形県環境教育行動計画」を平成25年3月に策定し、学校、地域等幅広い場における環境教育や、環境保全の意欲の増進などに取り組んでいます。
- 平成30年3月には、施策の進捗状況や、平成29年3月に中間見直しを行った「第3次山形県環境計画」の内容を踏まえ、中間見直しを行いました。

【中間見直しの主な項目と施策の展開方向】

◎環境学習プログラムの整備、活用促進

- ・ 地球温暖化、ごみ、自然と生き物、水や森林など、身近なものを題材とし、環境について効果的に学べる学習プログラムを、環境NPOとの協働により作成
- ・ 地球温暖化防止活動推進員等の地域の人材を指導者として活用



学校での環境学習プログラムの実践の様子

- ・ 環境学習支援団体等が提供する自然体験学習や再エネ施設の見学などを取り入れ
- ・ 放課後子ども教室、放課後児童クラブ等地域での学習の場に指導者を派遣
- ・ 地域の森林、里山、施設等の身近な環境資源を活用した体験学習を組込み

◎「やまがた木育」の推進

- ・ 平成30年3月に策定した「やまがた木育推進方針」に基づき、「やまがた木育」を展開し森林環境教育を推進

◎環境科学研究センターの環境教育拠点機能の充実と利用促進

- ・ 環境教育に関する相談受付、出前講座、地球温暖化防止活動推進員派遣等の取組みを充実
- ・ 環境教育を実践している指導者、民間団体等の環境教育内容を収集・整理（データベース化）・提供
- ・ 県の広報誌やホームページ、フェイスブック等のSNS等を活用した情報発信と、学校、放課後子ども教室等への普及活動を実施

2 環境教育の推進

(1) 環境学習プログラムの整備

- 小学生を主な対象として、室内学習のほか、地域の森林、里山等での体験学習も取り入れながら環境について効果的に学ぶ「環境学習プログラム」を、次の6つのテーマについて作成し、教育委員会等に紹介するとともに、環境科学研究センターの環境教室などにおいて活用しています。

①地球温暖化	②ごみ減量、リサイクル	③自然との共生
④再生可能エネルギー	⑤生物多様性（外来生物・動物編）	⑥水資源保全

(2) 山形県環境学習支援団体の認定

- 環境の保全に関する情報の提供や体験の機会の提供などを通じて、県民の皆さんの環境学習を支援している民間団体を認定し、広く紹介することにより環境学習の機会の拡大を図り、環境保全の意欲増進を図ることを目的として、平成16年度から認定を行っています。平成30年度末現在39団体を認定し、県ホームページ等において各認定団体の活動について紹介しています。

平成30年度新規認定団体	環境学習の様子と内容
もといづみ 元泉地域農地・水・環境保全組織運営委員会 (河北町)	河北町唯一の在来めだかを放流した水田「めだかの学校」での体験活動を通し、生態系、草花や生き物、田んぼの役割、水田環境保全の大切さなどについて学ぶことができる。
株式会社ニューテックシンセイ (米沢市)	地元広葉樹の間伐材などの未利用材から木製ブロックができるまでの工程の見学や、木製ブロックを使った工作体験を通し、森林自然保全の大切さなどを学ぶことができる。
一般社団法人庄内森林保全協会 (酒田市)	「眺海の森」での自然観察や自然の素材を利用した木エクラフト等の創作活動を通し、自然に親しみ、想像力を養うことができる。

- 平成30年度は、山形県環境学習支援団体が共同して「やまがた環境展2018」にブース出展し、来場者に環境学習を体験いただいたほか、活動内容をPRしました。

(3) 「やまがた木育」の取組み

- 平成30年3月に「やまがた木育推進方針」を策定し、「森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かしていくこと」を「やまがた木育」と決めました。



やまがた木育講演会&木育カフェ

- 平成30年度は、未就学児向け「木育絵本」の作製・配布、小学校低学年向け「木育ブック」を作製・配布したほか、「木育クラフト」を開発・実践し、小学校高学年向け副教材「やまがたの森林」とポケット版教材「森のたんけん手帳」を作成・配布しました。また、「やまがた木育」について理解を促進するため、木育講演会を開催しました。

(4) 山形県環境科学研究センターの取組み

- 環境科学研究センターは、環境モニタリング、試験研究、人材育成等の機能とともに、環境教育拠点施設として、県民による自主的で活発な環境保全活動が展開されるよう施設を開放し、親子で楽しむ環境科学体験デーや夏休み親子科学教室を開催しています。また、環境教育教材の貸出し、出前講座、環境アドバイザー等の派遣、水生生物調査へ

の参加呼びかけなどを通じ、環境意識の醸成を図っています。加えて、県内で行われる環境関連イベントなどについて、ホームページやSNSで情報発信しています。

ア 環境教育

環境教育に関する相談窓口の設置、環境情報・自然環境棟における環境関連の図書やDVD等の展示・貸出、体験学習の支援など

イ 環境教室

学校、団体、放課後子ども教室・放課後児童クラブなどを対象とした出前講座・所内教室の実施

【平成30年度実績】109回（3,709名参加）

《講座例》ペットボトルリサイクル工作、水生生物調査



環境教室の様子

ウ 環境アドバイザー等の派遣

環境、エネルギーに関する専門的な知見を有する環境アドバイザーや地球温暖化防止活動推進員の派遣

【平成30年度実績】78回（3,358名参加）

《講座例》地球温暖化、リサイクル、水生生物、ネイチャーゲーム、エコクッキング

エ 親子で楽しむ環境科学体験デー

環境月間（6月）推進事業の一環として、環境への関心を深めるとともに、環境科学研究センターの業務や施設を県民に知っていただくことを目的に平成15年度から開催

【平成30年度実績】7月1日開催（入場者延べ333名）

《実施内容》


- ◆「スライムをつくろう!」、「手廻し発電体験!」などの実験・体験コーナー
- ◆「センター研究施設見学」、「川の生き物観察」などの見学・展示コーナー



環境科学体験デー

3 環境保全活動の顕彰

- 県では、地球環境又は地域環境の保全と創造に功績のあった方を顕彰する「環境やまがた大賞」事業を実施しています。
- 平成30年度は、次の団体、個人が受賞しました。

受賞区分及び受賞者	功績概要
【環境やまがた大賞】 <small>もとすか</small> 元泉地域農地・水・環境保全組織運営委員会	河北町唯一の「在来めだか」を譲り受け、無農薬・無肥料水田に放流して「めだかの学校本校舎」として開校。その後も、町内の小学校と幼稚園に「分校」を開校するなど、小学生等の環境教育の機会提供に努めている。地元小学校で「おらだたんぼの子ども博士養成講座」を開講し、「探究型学習体系」による環境教育を推進している。 
【環境やまがた大賞】 <small>すけがわ のぶ</small> 助川 暢（個人）	基督教独立学園高等学校退職後、環境整備ボランティアとして、絶滅が危惧されている植物や近年減少している植物を植栽する活動を継続して実施している。
【環境やまがた奨励賞】 大久保地域元気な街づくり推進協議会／北山桜育成管理協力会	大久保地域全世帯参加により、荒廃した「北山」を下刈り・樹木伐採した上で、世帯数と同じ600本の桜苗木を植栽し、その後も継続して育成管理を行っている。地元の子どもたちへの環境教育活動にも取り組んでいる。

もっと詳しく知りたい方へ

環境白書の全文は、山形県ホームページで御覧いただけます。

《県ホームページ掲載先》

組織で探す ⇒ 環境エネルギー部 ⇒ 環境企画課
⇒ 山形県の環境白書・環境白書概要版

《URL》

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050015/seisaku/kankyohakusyo.html>



～表紙の作品～

平成31年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール
(主催 (公財) 日本鳥類保護連盟)

日本鳥類保護連盟総裁賞

平成30年度山形県愛鳥週間ポスターコンクール
環境省東北地方環境事務所長賞

山形市立第十小学校5年 (当時) 鈴木 美羽さん

令和元年版山形県環境白書 概要版
山形県の環境

令和2年3月発行

山形県環境エネルギー部環境企画課

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号

電話 023-630-2308

FAX 023-630-2133

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。